

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	令和2年度にしく市民活動支援センター運営事業	
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人市民セクターよこはま
	行政	西区役所 地域振興課
事業の目的	市民公益活動、生涯学習活動及びボランティア活動の支援を通して、市民の理解と参画のもとに、区民力の向上による豊かな地域づくりを図ること。	
事業の内容	市民公益活動に関する相談対応、情報提供・発信、活動の場（軽易な打合せスペース等）の提供、地域人材ボランティアバンク事業に関すること、区民利用施設等との連携による活動支援や団体運営の支援など	
役割及び責任分担等	次頁のとおり	
実施期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日	

記入日	令和3年4月9日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体等名： 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま</li> <li>・記入責任者 氏名： 加世田 恵美子 連絡先： 045-620-6624</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部署名： 西区役所地域振興課</li> <li>・記入責任者 地域振興課長 氏名： 畠山 久子 連絡先： 045-320-8393</li> </ul>

役割及び責任分担等

事業項目	受託者の役割	委託者の役割
にしく市民活動支援センターの管理運営に関すること	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 設備の管理</li> <li>2 軽微な維持修繕</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 設備の提供</li> <li>2 設備の管理に関する調整及び協力</li> </ol>
にしく市民活動支援センター事業に関すること	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民公益活動等のネットワーク化</li> <li>2 市民公益活動等の相談対応</li> <li>3 市民公益活動等に関する情報提供・発信</li> <li>4 市民公益活動等に関する活動の場の提供</li> <li>5 地域人材ボランティアバンク事業の実施</li> <li>6 区民利用施設等との連携による活動支援</li> <li>7 自主企画事業の企画・実施</li> <li>8 西区地域づくり大学校及び地域活動者の交流の機会づくり</li> <li>9 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力</li> <li>2 市民公益活動等の相談対応についての調整及び協力</li> <li>3 市民公益活動等に関する情報提供・発信についての調整及び協力</li> <li>4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力</li> <li>5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力</li> <li>6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力</li> <li>7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力</li> <li>8 西区地域づくり大学校及び地域活動者の交流の機会づくりについての調整及び協力</li> <li>9 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援についての調整及び協力</li> </ol>
事業改善に関すること	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用者のニーズ把握とサービス向上</li> <li>2 運営事業団体として必要になる事業の検証</li> <li>3 横浜市として必要になる事業の検証への協力</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用者のニーズ把握とサービス向上についての調整及び協力</li> <li>2 運営事業団体として必要になる事業の検証への協力</li> <li>3 横浜市として必要になる事業の検証</li> </ol>
その他支援センターの管理運営等にあたり必要となる事務事業に関すること	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用統計</li> <li>2 運営事業団体として必要となる情報公開及び説明責任に関する業務</li> <li>3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究</li> <li>4 その他、区が行う市民公益活動等に関する施策・事業への協力</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用統計についての調整及び協力</li> <li>2 横浜市として必要になる情報公開及び説明責任に関する業務</li> <li>3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究についての調整及び協力</li> <li>4 横浜市役所内部の連絡調整</li> </ol>

## 2 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

<b>事業の計画づくり</b> (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> ＜共有できたこと＞ <ul style="list-style-type: none"><li>・毎月の定例会や日常業務での行政情報、区庁舎管理情報などについて、情報共有をすることで、企画段階で事業目的や内容を共有し、実施することができました。</li><li>・施設連携会議、意見交換会などの運営において、適宜参加や運営実務をいただき、施設の状況や課題を共有することができました。</li><li>・コロナ禍の影響で、臨時休館や開館時の対応の変更など先を読みづらい1年であったため、都度、できることをできる形で行っていく一年となりました。</li><li>・にしとも広場は、区役所と同じ建物内にあるにもかかわらず、災害時の対応について課題でしたが、定例会にて、総務課防災担当係長を講師としてお迎えし、防災講座を実施しました。講座では西区内の想定される各災害時の被害状況や特徴などについて情報共有することができました。これを機に、にしとも広場を含めた防災対応について、総務課で検討していただくこととなりました。</li><li>・次年度事業計画について、目標やお互いの立場や役割、方向性について、地域振興課、区政推進課と3者確認する場を初めて設けていただき、連携の体制を確認することができました。</li></ul> ＜認識に違いがあったこと＞ <ul style="list-style-type: none"><li>・施設環境整備について、区庁舎と同じ建物内にあるため区庁舎管理の環境整備に応じて、都度対応する必要があります。(主に通信環境)</li></ul>
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・感染症対策を行いながらリアル及びオンラインによる行事開催のメリットを活かした協働事業計画を検討する必要があります。</li><li>・コロナ禍の影響で、前年度まで連携し事業実施していた区内施設との連携が途切れがちとなりましたが、オンラインも含めた新たな生活様式に合った関わりを模索し、構築していく必要があります。</li><li>・施設環境整備について、区庁舎と同じ建物内にあるため区庁舎管理の環境整備に応じて、都度対応する必要があります。(主に通信環境)</li></ul>
<b>事業実施</b> (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> ＜共有できたこと＞ <b>【情報共有について】</b>

- ・毎月の定例会議、施設連携会議、にしとも広場主催行事へのオブザーバー参加などにより、様々な地域活動や各施設の活動や地域との関わり方などについて情報共有することにより事業実施に繋ぐことができました。
- ・改善事項となっていた次年度事業計画書の情報共有（書面提出のみ）について、今年度は、にしとも広場、区政推進課、地域振興課の3者で話し合いの場を設け、次年度の事業運営に向けた、お互いの目標や立場、役割について、再確認し、情報共有することができました
- ・日々のセンターに寄せられる相談や利用者の様子、事業の進捗について、月1回の定例会議を行い、進捗具合や課題と感じていることについて共有、確認しました。2019年度まで、地域振興課のにしとも広場担当は、区内の施設管理の担当でしたが、2020年度からは、生涯学習担当に変更となりました。関係部署の調整や事業の共有を都度相談し、事業の企画の幅が広がりました。

#### 【「コロナにまけるな！西区元気プロジェクト2020」について】

- ・感染症対策を行いながら、にしとも広場の活動PRと地域振興課の交通安全対策啓発活動を協働実施することができました。
- ・西区民まつりに代わり開催された同事業について、事業の周知や動画出演者への対応等協力し、実施することができました。

#### 【開催場所への協力について】

- ・通常区庁舎会議室は本市職員が使用するものですが、にしとも広場の利用増加及び感染症拡大防止対策を鑑みて、引き続き会議室や物品の貸し出しを行うことができました。
- ・感染拡大防止のため、広い3AB会議室が利用できるよう相談し、調整を行っていただき、人数の利用制限の範囲で、希望する人にイベントに参加いただけました。

#### 【避難訓練について】

避難訓練は中止となりましたが、地域振興課より総務課へ調整いただき、災害に関する研修の機会を得ました。

#### <認識に違いがあったこと>

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、地域の施設利用等が難しく、代替施設として、にしとも広場及び区庁舎会議室の使用の相談がありましたが、利用者の利用目的を正確に把握し、にしとも市民活動支援センター運営要綱に沿った運営及びにしとも市民活動支援センターとしての役割を改めて再確認しました。

#### 【今後改善が必要と思われること】

- ・ワクチン接種会場が区内施設で実施予定であるため、にしとも広場を代替施設として利用したい相談が発生すると思われます。従来通り、利用者の利用目的を正確に把握し、にしとも市民活動支援センター運営要綱に沿った運営をする必要があります。
- ・定例会においては、センター事業についての進捗報告や提案を受け止めていただいておりますが、協働で運営をしている観点から、地域振興課のネットワークや情報、地域の課題やニーズなどについて、今後も更に積極的に共有し意見交換を行いたいと考えます。

## 事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・毎月の定例会議にて、にしとも広場に御意見や御相談をいただいた利用者情報や地域活動状況を情報共有したことにより、地域振興課にも御指摘いただいた際に状況が把握できる状態に対応できました。
- ・「コロナにまけるな！西区元気プロジェクト 2020」では、感染症対策を行いながら、にしとも広場の活動PRと地域振興課の交通安全対策啓発活動を協働実施することができました。
- ・2020年度は、大人数を集客するイベントの実施を中止としたため、来館者数については、前年比半数となりました。(2020年度は4,680人(前年比48%)、2019年度9,616名、2018年度8,872名)
- ・コロナウイルス感染症予防のため、施設内でオンラインで団体が活動できる環境を整えることが出来ました。区役所内でもにしとも広場の状況を共有いただき、Zoom講座の参加など、積極的に利用していただきました。

## 自由記入欄

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、先の見通しを立てづらい一年となりましたが、このような状況に消極的にならず、取り組めることを検討し、事業を進めることができました。定例会では、一緒にどうしたら実現できるか考え、話し合うことができました。
- ・より広く、地域・人と活動のつながりづくりをしていくために、より一層協働の自覚を持ち、互いのネットワークや情報を共有、相談していきます。